

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 洛和福祉会	代表者	矢野 一郎	法人・事業所の特徴	平成 24 年 4 月に開設した事業所であり、建物も新しくご利用者もスタッフも明るい事業所です。グループとしては 2 番目の小規模多機能居宅介護事業所であり、事業所間の情報交換・連携も行えています。レクリエーションに力を入れており皆さん楽しんで下さっています。ご利用者やご家族の意向を大切に、柔軟な対応を心掛け支援させて頂いております。
事業所名	洛和小規模多機能サービス 山科西野	管理者	岩崎 安信		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0 人	0 人	1 人	1 人	1 人	1 人	1 人	2 人	0 人	7 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・ミーティングに参加できず参加できたとしても、あまり発言出来ていない為ミーティングの実施日の検討をする。	月 2 回のミーティングを、第 1・3 火曜に固定した事で出席率が上がった。	具体的な事は不明であるが、議事録で確認出来た。	利用者の「以前の暮らし方」についての把握が不十分である為、ミーティング等で情報収集に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	・駐車場やエントランス等、定期的に掃除し常に清潔な環境を保つ様にする。	小規模・GH2・3 階で輪番制とし掃除をする様にした結果、以前より綺麗な状態を保てるようになった。	建物外にベンチが設置されており、少しでも地域の方々の役に立てる様取り組んでおられるのがわかった。	エントランスが殺風景な為、利用者の作品を展示する等工夫し、地域の方々も出入りし易い環境を作る。
C. 事業所と地域のかかわり	・地域の方々への事業所見学機会を検討する。 ・玄関開放されているが案内が不十分なので、案内板の設置を検討。	・建物外に手書きの看板を設置 ・ベンチの増設（以前からあったベンチをリノベーション）をし地域の方の利用が増加した。	地域の祭り等にも積極的に参加、事業所の行事に地域の方々も参加されているのを見ると安心出来る。	地域の方々飛び込みの相談等をし易い環境に整備する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・事業所として地域行事の積極的参加をテーマに活動する。	西野祭り・地域交流会（はなさんち・香東園）に参加することにより、地域の方々に事業所の事を知って頂ける様になった。	合同地域交流会は今後も継続して実施してもらいたい。	地域行事（お茶しませんか?）等、地域行事に、もっと多くの利用者と共に参加出来る様工夫する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・毎運営推進会議に利用者家族の参加を促し、参加して頂く。	毎会議時にご家族に参加して頂ける様、1 ヶ月前に案内を配布し参加して頂ける様になった。	事業所内の事故や、行事等を公表されクリアーにしているの、今後も継続してもらいたい。	参加して下さるご家族様に偏りがある為、もっと多くのご家族様に参加して頂ける様に案内する。

F. 事業所の 防災・災害対策	・地域の方に訓練の案内を発信し 参加の協力を得る。	地域の方々への参加促しが出来 ていない為、来年度も継続する。	地域の方々へは公表できていな い様なので、今後の課題として ほしい。	・地域の方に訓練の案内を発信し 参加の協力を得る。
--------------------	------------------------------	-----------------------------------	--	------------------------------